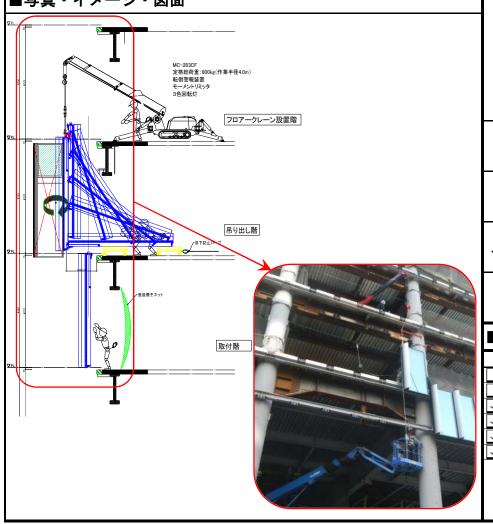
## 工法名: 外装ACWのユニット化 ■工法概要 外装ACW製作工場にて複層ガラスを取り付けるユニット化工法。 ACWに複層ガラスを製作工場にて取付、コーキングまで施工。 現場ではユニット化されたカーテンウォールをクレーンにて取り付けるのみとなり、工期の短縮、省人化が可能。 ■写真・イメージ・図面



	No. 2019-外装-02-r1				
特徴・適用条件・注意事項 等					
特 ・ 効 ・ メリット	【工程】 ・現場での複層ガラス取付・コーキング作業が省略可。 ・次工程(耐火被覆・空調配管等)とのタイムラグが短縮。 【品質】 ・工場にてガラスコーキング作業の為、精度・仕上りの向上が図れ、管理が容易。 ・現場での精度管理は、外装アルミカーテンウォールの取付精度のみ。 【安全】 ・揚重作業の削減によるリスクの低減。 【コスト】 ・ガラスコーキングが工場施工となりコスト削減。 ・外部面ガラスコーキング用ゴンドラ費用の削減。 ・搬入動線、揚重、資材仮置きヤード損料の削減。 ・現場取付楊重機械のスペックアップ(コスト増)。				
適用条件	外装アルミカーテンウォール製品がユニット式				
特許	なし				
メーカー等	アルミカーテンウォール : LIXIL(LGトステム・韓国) ガラス : 大興物産(ゴールデンガラス・中国)				
備考	・作業ヤードが狭小な現場に最適。 ・揚重機械の早期選定が必要。(フロアでのクレーン、上階ではタワークレーン)				

## ■検索用分類

検討時期	部位∙種別	着眼点	効果	職種		
■ Phase0(営業)	□ 仮設	✓ 繰り返し作業	Q	■ 鳶工		
■ Phase1(企画)	■ 基礎	✓ 工程数削減	П О	□ 土工		
✓ Phase2(基本設計)	■ 躯体(RC)	□ 標準化・モジュール化	^ D	□ 鉄筋工		
✓ Phase3(実施設計)	■ 躯体(S)	✓ 省人化	S	□ 型枠工		
✓ Phase4(施工準備)	✓ 外装	■ IT化·高効率化	∠ ∏	□ 左官工		
☑ Phase5(施工)	□ 内装	□ 工場製品化・PCa化		□ 鍛冶工		
	□ 外構	✓ ユニット化		✓ 金属工		
	□ 設備	■ 機械化		□ 内装工		
	□ IT化	■ 多能工化・共業化		□ 電工		
	□ 特殊構工法	☑ VE·設計変更		配管工		